

タケダ機械(6150) 19/5期決算メモ アウトパフォーマンス継続

建設業界の恒常的人不足と高層ビル建設、万博、総合リゾートなど寄与し最高益更新続く

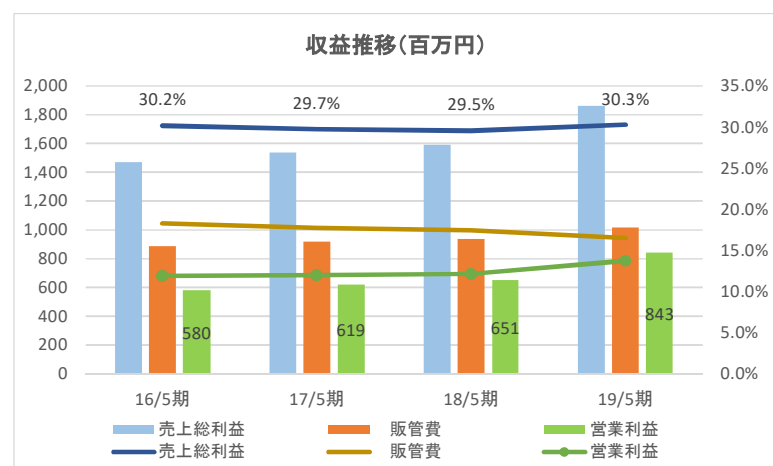
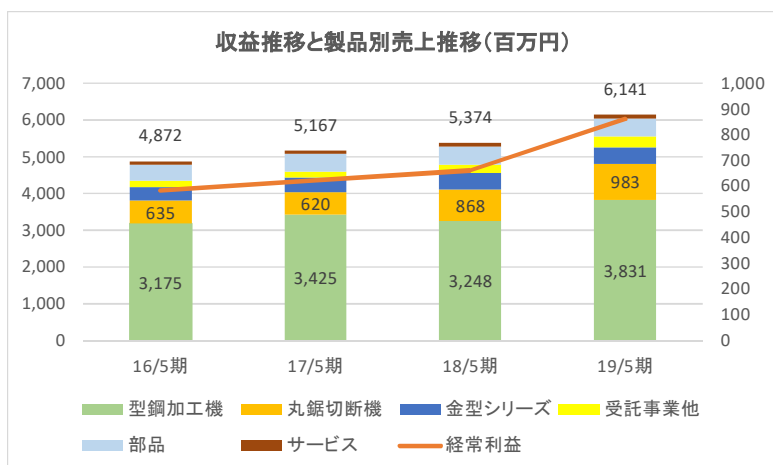
株価 2686 円 (7/12) 時価総額 27.4 億円 (7/12) 発行済株 1020 千株 (7/12)  
 PER (DO20/5 予 : 3.9X) PBR (0.66X) 配当 (20/5DO 予) 80 円 配当利回り : 3.0%  
 要約

- ・ 19/5 期は 14.3%増収、29.5%営業増で会社予想を大幅に上振れて着地
- ・ 20/5 期はアマダ向け減少見通しから 7.2%減収ながら 0.5%営業増益予想も上乘せ期待
- ・ 21/5 期も建設現場の自動化需要に加え、関西での万博需要なども見込まれ最高益更新続く
- ・ 株価は 20/5 期 DO 予想 EPS696 円に対し中小型工作機械平均 PER7 倍の 4870 円目標

19/5 期は 14.3%増収、29.5%営業増で会社予想を大幅に上振れて着地

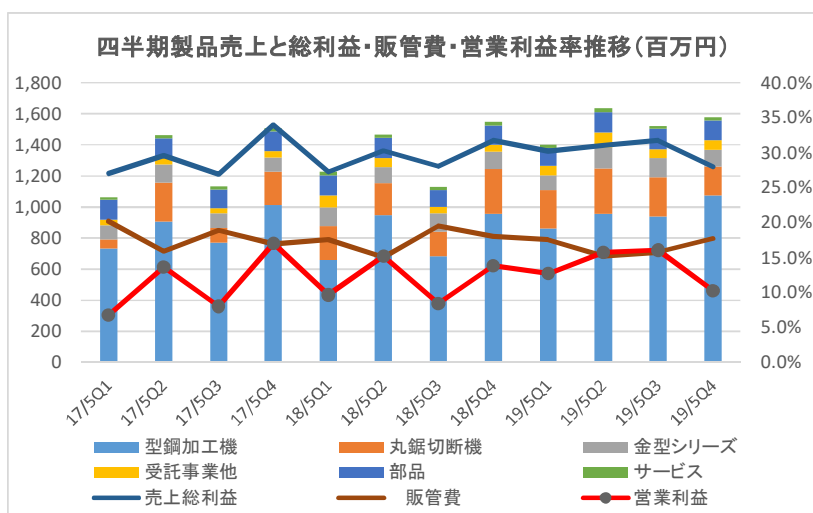
19/5 決算が 7/11 に開示された。19/5 期は売上高 6,141 億円 (14.3%増)、営業利益 8.43 億円 (29.5%増)、経常利益 8.61 億円 (30.1%増)、税引利益 6.40 億円 (41.7%増) と会社中間時修正予想に対し売上高で 3.41 億円、営業利益で 1.13 億円上振れ、ほぼ 5/20 の推定増額修正通りで着地、5 期連続経常最高益更新となった。

部門別売上では好調の続く形鋼加工機が首都圏などの工事は高止まりも、建設業界の人出不足の慢性化で自動化システム需要が旺盛で 38.31 億円 (17.9%増)、角パイプ材型鋼切断を中心とする丸鋸切断機はバンドソーなどからの入れ替え提案などで 9.83 億円 (13.2%増)、金型 4.55 億円 (0.7%増) 等となっている。なお Q4 だけの数字は前年同期



比 1.7%減収、24.3%営業利減となっているが、5月の長期連休、鉄骨を繋ぐ高力ボルト不足なども影響している模様。

利益面では増収効果に加え新製品効果などもあり、総利益率が0.8ポイント向上し30.3%となったことで増益率が上がった。

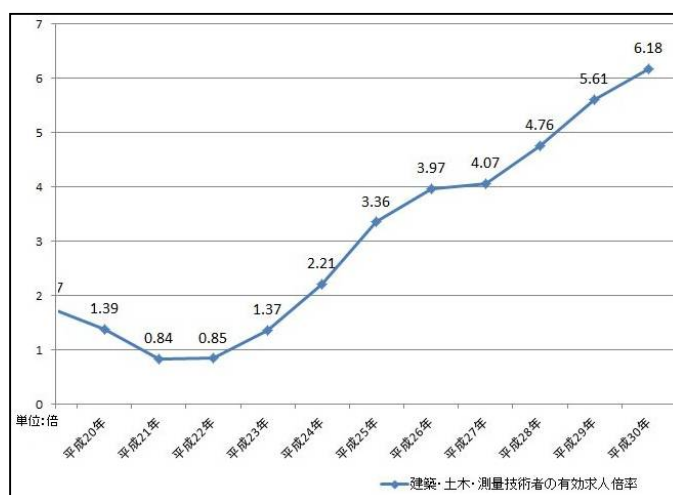


### 20/5期はアマダ向け減少見通しから7.2%減収ながら0.5%営業増益予想も上乗せ期待

20/5期会社予想は売上高57億円(7.2%減)、営業利益8.5億円(0.5%増)、経常利益8.65億円(0.5%増)、税引利益5.8億円(9.4%減)予想と、アマダ子会社のアマダマシンツールとの提携関係縮小(アマダブランドで販売の海外向けOEM供給を一部停止)を加味し、減収ながら、自社製品比率向上と高付加価値製品増によるMIX改善で総利益率が2.2ポイント向上し32.5%に上がる前提で微増益予想ながら6期連続経常最高益更新予想としている。19年6月から自社ブランドに切り替えるまた上、下では下期にオリンピック需要などの一巡、景気減速などを想定し、上期が3.0%減収、5.4%営業増に対し、下期は11.3%減収、4.2%営業減予想と、減収減益予想としている。

現状、同社がかかわる建設業界において、オリンピック特需は一巡しているものの、建設業の有効求人倍率は他業界を大きく上回り、2019年5月でも5.06と依然として人出不足が慢性化、また技能者不足や外国人労働者雇用などの要素も加わり、省人化、自動化ニーズは高い。

国内の鉄骨需要についてはポスト東京オリンピックとして都市再開発、インバウンド需要、Eコマース、インフラ整備、超高層マンションなどがあり、鉄骨需要は堅調な推移が続く見通しにある。このため鉄骨加工を担うファブリーケーターは高い稼働率を維持しており、働き手が減る中で仕事をこなすため、省力化・効率化設備投資意欲は依然として強く、需要は落ちない見通し。

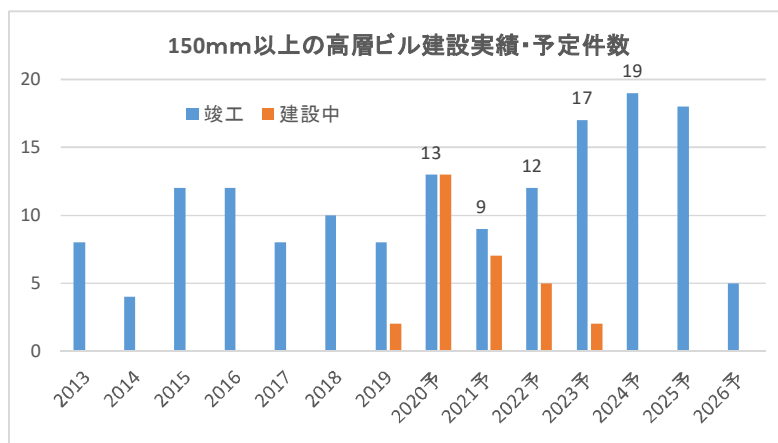


一方、切断機はアマダ向け契約減を、自動車部品などの加工に使う「丸のこ切断機」について加工スピードを上げた自社ブランドの新興国仕様機を投入し一部カバーできると判断、会社予想を上回る収益が見込める。過去からの経緯でも、上期に増額修正するケースが多く、今期も結果として会社予想を上回る収益が期待される。

## 21/5 期も建設現場の自動化需要に加え、関西での万博需要など見込まれ最高益更新続く

オリンピック後も都市再開発、インバウンド需要、E コマース、インフラ整備、超高層マ

ンションなどがあり、澁谷再開発や 2027 年にはビルの高さ 390m、61F 建ての三菱地所常盤橋プロジェクトなど、巨大プロジェクトでは 10 万トン規模の鋼材需要が見込める。更にカジノ法案成立で総合リゾート建設需要が確保され、大阪万博



も建設の具体化が進む見通しで、労働力不足も加わり、同社の省人化、複合化、自動化された形鋼加工機、丸鋸切断機も堅調な需要拡大が続こう。その後リニア新幹線工事など継続的な大型建築物需要から形鋼加工機は切れ目ない大型プロジェクトの継続で堅調な受注環境が見込まれ、型鋼加工機は東南アジア向けに現地仕様の製品拡大による事業拡大も見込まれ、最高益更新が続こう。



株価は 20/5 期 DO 予想 EPS696 円に対し中小型工作機械平均 PER7 倍の 4870 円目標

株価は連続最高益更新銘柄ながら工作機械銘柄として昨年 12/25 に 1979 円安値を付け、1/11 に増額修正発表後に 1/18 に 2766 円まで急騰、4/12Q3 好決算を受け 4/15 には 3160 円の年初来高値を更新した。その後は工作機械関連銘柄として月次受注低迷の憶測のもと

株価が低迷、6/3には2455円まで下落し、その後、本決算の好調予測から7/11には2974円まで戻すも、同日発表の20/5期予想が減収の業績予想を嫌気し7/12には前日比271円安の2686円で引けている。現状、20/5期会社予想EPS630.48円に対しPERは4.26倍に過ぎず、6期連増経常最高益更新予想で内需刺激策関連銘柄として時価総額が小さいものの、非常に割安な水準と判断される。さらに同社は下期控え目な予想で、会社予想を上回る業績が期待され、上期にも会社予想の上方修正の可能性があると判断、20/5期DO予想EPS695.8円に対し、中小型工作機械平均PER7倍水準にあたる4870円を目標値としてアウトパフォーマンス継続とする。

タケダ機械(6150)										(百万円、円)	
	売上高	増減率	営業利益	増減率	経常利益	増減率	税引利益	増減率	EPS	配当	
18/5期	5,374	4.0%	651	5.2%	662	6.1%	452	3.6%	490.8	60.00	
19/5Q1	1,406	14.5%	178	50.5%	186	54.1%	141	81.0%	154.2	0.00	
19/5Q2会予(10/12)	1,389	-5.5%	205	-8.2%	201	-11.5%	148	-1.6%	161.9	0.00	
19/5H1期初会予	2,795	3.6%	383	12.0%	387	11.1%	289	26.3%	315.2	0.00	
<b>19/5H1</b>	<b>3,039</b>	<b>12.6%</b>	<b>436</b>	<b>27.6%</b>	<b>448</b>	<b>28.8%</b>	<b>318</b>	<b>39.1%</b>	<b>345.88</b>	<b>0.00</b>	
19/5H2期初会予	2,605	-2.6%	307	-0.7%	313	-0.2%	211	-5.5%	228.2	60.00	
19/5H2修正会予(1/11)	2,761	3.2%	294	-4.9%	302	-3.7%	202	-9.5%	373.5	80.00	
<b>19/5H2</b>	<b>3,102</b>	<b>16.0%</b>	<b>407</b>	<b>31.7%</b>	<b>413</b>	<b>31.7%</b>	<b>322</b>	<b>44.3%</b>	<b>350.0</b>	<b>80.00</b>	
19/5期初会予	5,400	0.5%	690	6.0%	700	5.7%	500	10.6%	543.4	60.00	
19/5期修正会予(1/11)	5,800	7.9%	730	12.1%	750	13.3%	520	15.1%	565.2	80.00	
19/5期修正会予(5/20)	6,100	13.5%	840	29.0%	860	29.9%	645	42.7%	701.1	80.00	
<b>19/5期</b>	<b>6,141</b>	<b>14.3%</b>	<b>843</b>	<b>29.5%</b>	<b>861</b>	<b>30.1%</b>	<b>640</b>	<b>41.7%</b>	<b>695.9</b>	<b>80.00</b>	
20/5H1会予	2,950	-3.0%	460	5.4%	470	4.8%	320	0.6%	347.9	0.00	
20/5H2会予	2,750	-11.3%	390	-4.2%	395	-4.4%	260	-19.3%	282.6	80.00	
<b>20/5期会予</b>	<b>5,700</b>	<b>-7.2%</b>	<b>850</b>	<b>0.8%</b>	<b>865</b>	<b>0.5%</b>	<b>580</b>	<b>-9.4%</b>	<b>630.5</b>	<b>80.00</b>	
20/5H1DO予	2,950	-3.0%	460	5.4%	470	4.8%	320	0.6%	347.8	0.00	
20/5H2DO予	2,950	-4.9%	460	13.0%	465	12.6%	320	-0.6%	347.8	80.00	
<b>20/5期DO予</b>	<b>5,900</b>	<b>-3.9%</b>	<b>920</b>	<b>9.1%</b>	<b>935</b>	<b>8.6%</b>	<b>640</b>	<b>0.0%</b>	<b>695.6</b>	<b>80.00</b>	
<b>21/5期DO予</b>	<b>6,500</b>	<b>10.2%</b>	<b>1,030</b>	<b>12.0%</b>	<b>1,050</b>	<b>12.3%</b>	<b>710</b>	<b>10.9%</b>	<b>771.7</b>	<b>90.00</b>	

セグメント売上情報年度	16/5期	17/5期	18/5期	19/5期	20/5期 会予	20/5期 DO予	21/5期 DO予
型鋼加工機	3,175	3,425	3,248	3,831	4,050	4,190	4,500
丸鋸切断機	635	620	868	983	450	500	740
金型シリーズ	368	388	452	455	426	430	450
受託事業他	169	162	220	276	210	210	220
部品	449	492	497	508	468	470	480
サービス	72	81	86	86	96	100	110
合計	4,872	5,167	5,374	6,141	5,700	5,900	6,500

年度	16/5期	17/5期	18/5期	19/5期	20/5期 会予	20/5期 DO予	21/5期 DO予
売上高	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
売上原価	69.8%	70.3%	70.5%	69.7%	67.5%	67.3%	67.2%
売上総利益	30.2%	29.7%	29.5%	30.3%	32.5%	32.7%	32.8%
販管費	18.3%	17.8%	17.4%	16.5%	17.5%	17.1%	16.9%
営業利益	11.9%	12.0%	12.1%	13.7%	14.9%	15.6%	15.8%
経常利益	12.0%	12.1%	12.3%	14.0%	15.2%	15.8%	16.2%
親株主帰属純利益	8.1%	8.4%	8.4%	10.4%	10.2%	10.8%	10.9%

